



つながる
チカラを、
ふくしまの
「進む力」へ



1. ふくしま連携復興センターの紹介

復興を前進させ、ふくしまが新たな価値を創造するためにふくしまの課題解決に取り組む人や組織が有機的に結びつき、それぞれの役割を充分果たせるよう下支えをする団体です。

設 立 の 経 緯

東日本大震災に見舞われる

避難所や仮設住宅での個別支援

NPOや任意団体が個別にサポート

障がい者・要介護者・高齢者・子ども・孤立・・・

連携支援の必要性

福島大学災害復興研究所や県内のNPO団体の有志とともに
自立的な復興を目指して

2011年7月 中間支援組織として設立

運 営 体 制

代表理事：天野和彦

役員会
理事6名
監事2名

事務局
事務局長1名
事務局次長1名
庶務会計担当1名

連携支援グループ
支援者連携班（7名）
拠点連携班・支援企画班（7名）
復興再生チーム（3名）



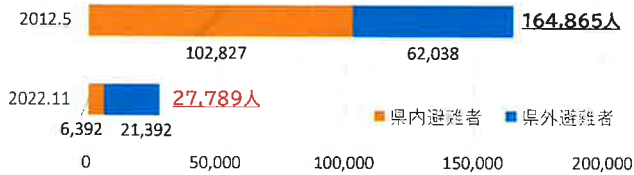
（支援者の皆さまと一緒に・・・）

1-1. 震災が生んだ福島県の社会背景

震災による避難者はいまだ3万人近くいます。戻れない区域がまだあります。長引く避難生活による関連死も多くなっています。人口減少、高齢化、過疎化も進み、復興を難しくしています。

■ 3万人近い住民がいまだ県内外に避難

東日本大震災と福島第一原発事故に伴う県内外への避難者数※1



■ 拡大し続ける震災の人的被害

- 震災による死者数: 4,164人 ※1
内、震災と原発事故に伴う避難の影響で体調を崩すなどして死亡し、関連死2,333人
- 関連死者数が直接死者数を上回っており、いまだに増え続けているのが福島県の特徴
(13年12月に地震や津波による直接死を上回る)

※1 平成23年東北地方太平洋沖地震による被害状況即報 (第1788報) 令和4年5月12日時点

■ 避難指示区域の存在

- 福島県の約2.4%の面積をしめる地域がいまだ避難指示等区域※2



■ 急激な人口減少、高齢化が進む福島県

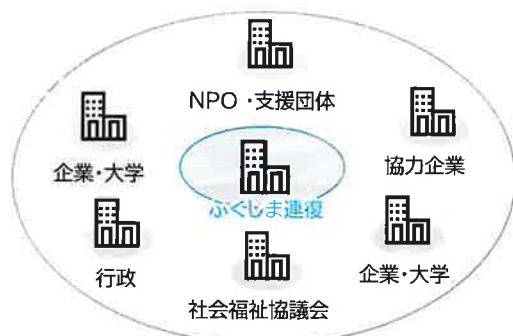


※2 復興庁 https://www.fukko-pr.reconstruction.go.jp/2018/fukushimanoima/10th_trajectory/reconstruction_housing/

1-2. 私たちの目的と目指す姿

目指す福島 Vision

東日本大震災・福島第一原子力発電所事故が投げかけた課題を教訓として、その課題解決に取り組む多様な主体が連携を深化させ、人口減少・経済格差・社会的孤立の拡大防止に取り組む「共に助け合う市民社会・ふくしま」を目指す。



中間支援組織として震災で失われた地域コミュニティの再構築

1-3.当団体のビジョンとミッション

● ビジョン(目指す福島の方)

ふくしま連携復興センターは、東日本大震災・福島第一原子力発電所事故が投げかけた課題を教訓として、その課題解決に取り組む多様な主体が連携を深化させ、人口減少・経済格差・社会的孤立の拡大防止に取り組む「共に助け合う市民社会・ふくしま」を目指します。

● ミッション(やるべきこと)

【支援の継続】

世界史上初めての複合災害での被災者を一人も取り残すことの無いよう「原発事故 子ども・被災者支援」に基づく「留まる」「避難する」「戻る」の住民の自己決定を尊重した支援継続をします。

【震災の風化防止と共に、その教訓を活かした情報発信】

東日本大震災への対応で得られた知見や教訓、被災実態の風化を防止するための情報発信を継続して行います。

【社会課題】

人口減少、格差拡大に伴う地域社会の衰退に対し、市民協働の活動をさらに促進させます。

【災害対応力強化のための体制】

今後起こりうる大規模災害に対し、市民・行政の連携を深めることで防災・減災への備えを強化していきます。

【市民社会の実現】

福島が抱える課題解決に取り組む市民活動団体等と、広範かつ積極的に連携を図り「共に助け合う市民社会・ふくしま」の構築に寄与します。

1-4. これまでの活動：3つの活動の柱

会員や市民らとともに、復興活動を推進しています。



2011年7月設立
中間支援組織として活動開始

2011

2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2023

...

ふくしまの今とつながる相談室 toiro開設

県外・生活再建支援拠点サポート

被災者支援コーディネート事業(復興庁)

地域おこし隊サポート

復興支援専門員サポート

コミュニティ財団「ふくしま百年基金」設立

協働基盤整備事業 (JPF、日本財団)

広域避難者支援

支援者連携

復興創生

2. 私たちが行っている活動



広域避難者支援



県外避難者の生活再建や
帰還に向けた支援

全国26箇所に生活再建支援拠点（相談窓口）を設置し、避難されている皆さまの日頃の不安やお悩みごと、今後の生活に向けた相談対応や交流促進などの活動を行っています。



支援者連携



被災者が安定的な
日常生活を営むことを
目指して！

被災地の復興や被災者の生活再建などを支援するさまざまな主体とともに、福島県の復興を進めるために、支援者同士の連携調整や、情報提供、行政への事業提案などを実施しています。



復興創生



福島の復興・創生の
新しい担い手を支
援！

福島県外から県内に移り住む人材の確保や定着の促進に向けた取り組みを行っています。具体的には移住先としての福島県のPRや、復興支援員及び地域おこし協力隊に対する側面サポート等を行っています。